

学校規模適正化基本計画（素案）に関する公聴会 実施報告書

●実施状況

小学校の学区ごとに「学校規模適正化基本計画（素案）に関する公聴会」を開催して意見聴取を行いました。

対象学区	日時	場所	参加人数
阿久津小学校	令和6年1月28日（日） 10：00～10：50	阿久津小学校 多目的ルーム	5名
中央小学校	令和5年12月17日（日） 10：00～12：00	農村環境改善センター 研修室	22名
東小学校	令和6年2月4日（日） 10：00～11：15	東小学校 多目的室	8名
上高根沢小学校	令和5年12月10日（日） 10：00～13：00	上高地区コミュニティセンター 多目的ホール	26名
北小学校	令和5年12月24日（日） 10：00～11：25	仁井田地区コミュニティセンター 大集会室	10名
西小学校	令和6年1月21日（日） 10：00～11：00	宝積寺タウンセンター 大会議室	9名
合 計			80名

※前回令和3年度に実施した公聴会の出席人数は合計69名

●意見聴取内容

公聴会で聴取した意見等の内容は次のとおりです。（92項目）

※資料に対する質問のみの発言は割愛しています。また、同じ発言者の同軸の意見は1つの項目としています。

阿久津小学校学区（5項目）

・色々な考え方があると思いますが、どちらかの学校に吸収される形の統合であると、「なぜ自分の学校が残らないのか」といった地域の方の不満もあるかと思いますが、将来的に1校になるのであれば、時間をかけてきちんと新しい校舎を整備するという考え方もあるかと思いますが。地域の方も、「新しい学校に統合するのであれば仕方ない」という気持ちになるのではないのでしょうか。

・中学校の統合については、現在県内で一番大きいさくら市の氏家中学校に何度か行かせていただく機会がありましたが、先生から「人数が多すぎて全体の統制が難しい」という話をお聞きしました。そういったことを考慮すると、学区の見直しも含めて、中学校は2

か所でやっていくことも考えられるのではないかと思います。

・災害があったときには、学校は避難所になると思います。町全体の防災を踏まえて、跡地利用を考えていただければと思います。

・元教員の立場から申し上げますと、1学年に2クラスあると非常に学級運営がしやすく、1クラスだけだと、いじめや人間関係などの解決が難しくなります。地域の方や保護者の方からすると、「おらが学校がなくなる。」という感情もあるかと思いますが、実際に学校に通っている子ども達の立場に立って学校はどうあるべきなのかを考えてほしいと思います。

・中学校の具体的統合についてはまだ決まっていないと思いますが、この資料のデータは現時点でのデータだと思いますので、中学校の統合を検討するときには、改めて基礎的なデータを取り直す必要があると思います。また、通学については、烏山線の利用も考えられます。

中央小学校学区（22項目）

・中央小が統合されて阿小と北小に分かれた場合、一部の地域はそれぞれ阿小・北小よりも距離が近い学校が生じることとなります。そういった学区の問題についてはどのように要望していけばいいのでしょうか？

・統合に伴って、制服や体操着などの負担はあるのでしょうか？

・統合する際は、通っている学校と統合先の学校との児童交流の実施をお願いします。

・統合第1段階から統合第2段階まで6年以上かかるのは長いので、パターン1が良いのではないのでしょうか。また、町民広場に新庁舎が建てられる予定であることからすると、町民広場付近の交通量増加による児童の通学面の不安があることや、使わなくなった中央小が利活用できることから、統合の時期は、新庁舎整備の時期より前にすべきだと思います。

・統合が決まった場合、廃校になる学校であっても、児童ファーストの考え方で、不具合の修繕など、環境を整えてほしい。

・統合する前に、児童の交流を実施するとの話であったが、例えば、統合先の学校の入学説明会や、保護者向けの学校説明会などを開催してほしい。

・自分の子どもは、小規模校での環境を勧められて中央小に通っています。個人的には、時間をかけて、段階的な統合をしていく方法の方がありがたいと思っています。また、清原地区の急激な人口増加やマニーの本社移転等による影響を考慮した場合も、パターン2の段階的統合がいいのではないのでしょうか。

・統合すると小規模な学校がなくなってしまうので、例えば、支援する教員の数を増やすとか、小規模な学級を作る考えはあるのでしょうか？

・自分の場合、自宅から学校までの距離が2.8kmあってスクールバス利用対象者ですが、スクールバスの停留所から2km以上離れているため、途中の登校班まで車で送っていく選択をしています。統合後は、例えば、たんたん号を細い道路まで走らせるなど、運用方

法を見直してもらえるとありがたいと思っています。

・子どもは減っていますが、学童保育の利用は増えています。中央小も児童数は少ないですが、学童保育の利用は多いので、子どものための環境整備をよく考えてほしいと思います。

・「本町が発展していない、住みにくい」という声もあります。具体的には分かりませんが、住環境が不便であることや、住宅地整備が課題なんだと思いますので、住みたくなるようなまちづくりをお願いします。

・学童保育については、利用児童が増えることを見越して、現段階から、「次世代たかねざわ」を交えて議論していくべきではないでしょうか。

・新庁舎整備やマニエの移転に合わせて、住宅地を作る予定はあるのでしょうか？

・令和9年度に統合する案について話がありましたが、現在の1年生が卒業する令和11年度に統合するのがよいと思います。

・上高小の小規模特認校制度は、今後も募集・説明を続けていくのでしょうか？保護者や教員の負担になることを考えると、募集・説明の切り上げ時期も考えるべきだと思います。

・新庁舎整備や統廃合などによる町の財政状況への影響が心配なので、スクールバス運行が続けられるのか不安があります。また、ハード面だけでなく、ソフト面の充実についても素案の中で具体的に示していくべきだと思います。

・学童保育の対応については、施設の増設だけでなく、学童保育の時だけ中央小に戻るとか、夏休み期間中の利用児童が増えるときだけ中央小を使うなど、中央小の学童施設を活用する考え方もあると思います。

・統合に際して、PTA等の再編等については、早めに対応をお願いしたい。

・パターン1の小学校の維持管理費のコスト試算の中に、学校の新設や増改築の費用を入れた方がいいと思います。

・町外の情報を参考にすると、中学校の新設は28億円ではできず、更に費用がかかると思うので、もっと正確に試算していただきたいと思います。

・統合することとなった場合、例えば、中央小から阿小に統合・転校することになる児童があらかじめ阿小に入学を希望することなどが想定されますので、それぞれの事情に合わせて、統合前に入学する学校を選べるように対応してほしい。

・統合前と統合後の教員の人数や人件費については試算していますか？統合に合わせて、教員の負担を減らせる体制づくりをしてほしいと思います。

・統合後も、スクールバスの運行本数を減らさないでほしいと思います。

東小学校学区（10項目）

・パターン2の2段階目の統合は、北小と東小の「統合校」という表現をされていますが、私の考えでは、東小に統合する方法が一番合理的でふさわしいと思います。

・一番新しい東小学校であっても、また他の学校も含めすべての学校において、1校に統合した後の望ましい学校規模になる児童数を受け入れるだけの施設規模・キャパがないということが非常にショックです。旧東小の校舎であれば、これくらいの学級数は入っていたと思います。統合を見据えて整備したはずの一番新しい東小学校であっても受け入れるキャパがないことに疑問を感じています。

・北中についても生徒数がかかり減ってきています。教室がかかり余っているのがもったいないと感じていて、例えば4校を1校に統合して、北中の空いた教室を小学校側に提供するということはできないのでしょうか。

・統合後の児童が既存校に入りきらないことについては、5年前東小を建てたときに誰が決めたのかは知りませんが、50年後・100年後を見据えてお金を使わなかったことに、一町民として怒りを感じます。これから、学校増改築など整備が必要になるというのは、無駄なお金の使い方をしているのではないのでしょうか。

・パターン1では、課題として「現状の既存校では教室数の確保が難しいので、新しい学校や既存校の増築などの施設整備が必要となる」と記載されていますが、「では、その課題をどう打開するのか」を示してほしかったと思います。4校を1校にする場合に、どの位置に作ろうと考えているか、どれくらい金額がかかるのか、どのような課題が生じるのか、などについても細かく示してほしかったので残念です。

・自分の子どもは、通学距離2km以上なので、スクールバスで通学していますが、子どもの体力が落ちたと感じています。高根沢町は体を動かすことにも重点を置いた指導をいただいているとは思っていますが、それでもなかなか体力がついてこないと感じています。中学校が統合するとすると中学生のバス通学の可能性もあるので、「丈夫な身体の子」の育成については、バス通学であっても歩く機会を作るなど、工夫や配慮を考えていただけるとありがたいです。

・今後の進め方については、最終的な案のパブリックコメントを実施したり、意見を聞いたりして決を取っていくということだと思のですが、その場合、阿小、西小、中央小などの人口の多い地域、意見の多い地域に、意見が主導されて、押し通されてしまうのではないかと懸念しています。人の少ない地域の意見が聞かれず、人の多い地域の意見が重要視されてしまうのではと危惧しています。

・最終的に1校に集約していた場合、4校舎分が空くことになると思います。廃校校舎の利活用についての記載はありますが、解体して更地にするにしても、残して維持管理するにしてもお金がかかるので、4校の校舎をどうしていくかは課題だと思います。使われない施設を維持していくのは無駄な支出になると思いますので、「作ったはいいが使用されない」ということがないように、きちんと検討していただきたい。

・子ども達への影響を考えると、1回の統合で済ませたほうが安心なのではないかと思えます。

・中学校の統合についても、小学校の統合と同時に考えるべき部分があると思いますが、今回は説明がありませんでした。中学校の統合をこの計画の中でどのように位置づけるのか、配慮しながら計画を説明しないと皆さんに納得してもらえないのではないかと思います。

上高根沢小学校学区 (32 項目)

・この資料では、答申という結果に至る「経緯・経過」が読み取れない。これまでの長い教育の歴史の中での経験値から、どのような規模でどのような教育効果・結果となったかの事実や経験に基づいて判断されたのだと思いますので、そういったあたりを初めて資料を見る人にも理解できるように示してほしい。

・学校教育の基本方針や基本目標に照らしたときに、このぐらいの学級規模だとどうなのか、というところを示していただきたい。どうしてその規模が適切だと判断したのかが分からないので、教えてほしい。基本方針や基本目標にどうつながるかを書いたほうがいいと思います。

・答申を受けた上で、町が、町としての教育ビジョンを基本計画（素案）の中に盛り込んで示すべきなのに、示されていないところが問題だと思います。

・資料 2 ページの推計は、社会状況の変化などを見込んでの推計でしょうか？社会的要因も織り込んでいくべきだと思います。

・資料 16 ページの附帯意見（2）の最後の 2 行で「持続可能な学校運営に向けて、人口増加策や、都市計画を含めた魅力的なまちづくりなどの教育環境に関連する施策を、町として積極的に推進していくこと。」と記載されていますが、それに対する町の回答が書いていないと思います。学校統合といった部分的な話ではなく、もっと大きな視点で計画した方がいいのではないのでしょうか。

・素案の資料では、統合時期が示されていないが、時期が示されないと議論ができないと思うので、全く未定なのか、または具体的にいつから統合を考えているのかを示してほしい。

・令和 3 年度に上高小が複式学級化したことがこの議論の契機なのであれば、それ以降は将来的な統合の可能性についてあらかじめ説明すべきだったと思います。素案では、小規模特認校制度は継続できない案としていますが、小規模だからとひとくくりに統合するというのも納得いかないし、上高小を無くしてほしくない。

・上高小において特色ある教育を受けられる期待、特色ある教育を受けている実感があって上高小に通わせています。学校規模適正化の協議は、上高小以外の小学校の統合の話だと思っていました。資料 14 ページ（3）統合時期の検討の記載の中に、「他の小学校に転学することになる児童の負担や影響～を考慮する必要」とありますが、在籍している学校がそのまま統合される考え方でしょうか？

・約 50 年前に上高小を卒業した者ですが、上高小の統合には絶対反対です。

・高根沢町は宇都宮市のベッドタウンであり、働く場所も近くにあるのに、市街化調整区域の問題があり、住む場所がない。まず人口を増やすこと、住みたいまちづくりを考えてほしい。統合すれば地域が衰退してしまう。上高小を中心に地域の活性化を図ってほしい。

・ご存じのとおり、芳賀・高根沢工業団地まで L R T が開通しました。この L R T を活用して、上高根沢を活性化していくことを、町で検討してほしい。上高根沢に住みたい、高

根沢町に住みたいと思えるようなまちづくりをしていけば、人口が増えて上高小の統合の問題も生じないし、税収が増えていくことになると思います。

・検討において、学校規模適正化検討委員会の構成員に小規模特認校制度利用者が入って
いなかったことは残念に思います。また、不登校等の児童の保護者の意見が反映されてい
ないのではないかと思います。少数派の意見も反映してほしい。

・非常勤講師等を増やす話が出ましたが、先生の質はどのように担保していくのかお聞き
したい。今年度、学校の対応が雑になっている印象があります。

・統合する場合に、なぜ統合先が東小なのか納得できません。東小勤務の先生に聞いたと
ころ、東小は特別教室やグラウンドを北中に借りていて、運動会の練習の時に毎回グラウンド
の原状復帰をしなければならなかったり、施設の使用予定がバッティングして予定を変更
しなければならなかったりするなどの状況にあり、専用設備を使える上高小の方がいいの
ではないかと思います。

・段階的に統合する方が地域コミュニティへの影響が少ないとしていますが、P T A活動
への影響を考えると、P T A組織を再編していくことは1回だけでも大変なのに、6年後
に2回目の再編をする方が、コミュニティへの影響は大きいのではないのでしょうか？

・小規模特認校制度の説明会で、6年間通ってくださいと説明しているのに、途中で転学
させるのはおかしいと思います。途中で転学することになると、来年度以降、小規模特認
校制度の利用者がいなくなってしまうのではないかと思います。

・高根沢町としての教育ビジョンを持って、そのために施設をこうしていく、という計画
を作してほしい。

・小規模化のメリット・デメリット、特にどんな悪影響があるのかは、議論のキーになる
ので明確に示してほしい。

・維持管理コストの試算は大事なのもっと詳しく示してほしい。また、20年間で35億
円浮くのであれば、それで上高小を新校舎に建て替える方法というのでも検討できるのでは
ないかと思います。

・計画は、明るい未来を感じさせるものであってほしい。

・私は、少人数だと多様性に触れられない、切磋琢磨できないというのは、違うと思っ
ています。小規模特認校制度では、発達に凹凸があるような、特徴のある児童も通っていて、
上高小ではそういった子ども達とのコミュニケーションを日々学んでいっていると思いま
す。人数が多いと、同調圧力が働いて違った意見が出にくいという場合もあると思いま
すし、人数が少ないので違った意見が言いやすいということもあると思います。また、今
の子ども達は学校だけに軸を置いているのではなく、学校の外にも様々な軸を置いて生活
しているので、必ずしもデメリットが生じるものではないと思います。

・一番重要なのは、個性を伸ばして、将来活躍できる子を育てていくことだと思います。今日の公聴会の出席者は、上高小を残してほしいという意見がほとんどだと思います。統合ありきの資料になっていますが、これを機会に高根沢町の教育を見直していく議論ができればと思います。資料3ページにある全小学校の合計児童数を6校で割ると、それぞれ1学年当たり37人程度の学校になり、単純に分けられるものではありませんが、上手く分けられれば理想的な規模の学校になるのではないのでしょうか。教育を見直していくことで、他市町からも人が集まり、人口が増えていくのではないのでしょうか。例えば、6つの学校がそれぞれの特徴・個性を持って、様々な分野に特化した教育をやっていくのがいいのではないかと思います。高根沢町の教育を考えるプロジェクトのようなものを組織して、検討の場を作ってほしい。

・住宅ができるような都市計画の見直し、人口増加策に取り組んでほしい。
・人口増加のためにも高根沢町らしい特色ある教育、魅力あるまちづくりに取り組んでほしい。

・現在小規模特認校制度を利用している方は、上高小の教育に魅力を感じて通わせていると思います。ぜひ上高小の良さ・いいところについての意見を保護者や児童から吸い上げてほしいと思います。それが統合後にどれくらい継承されるのか、今後どんな教育を受けられるのかが、この資料では見えないと思います。やりたいことが書いていないので、民間では説明資料としてあり得ないと思います。これからやっていく教育や、やりたい教育のビジョンを「見える化」して記載し、そのためにこういう方法をとります、という説明にしてほしい。そこは自分達が来年つぶれる企業だと思って頑張してほしい。

・上高小を存続させていくという結論を一度出したのにも関わらず、今回存続させない判断となったのはなぜでしょうか？最初の判断をひっくり返すほどの理由があると思えません。小規模特認校に人が集まらないから小さな学校を統合していくというのは乱暴な話であり、最初の大前提のところから検討し直してもらう方が、正しい議論のスタートになると思います。

・きちんと現状を調査して検討し、子ども達に不利益のないようにしてほしいと思います。学校がなくなる寂しさなどからすると、子ども達の心のケアもしっかり考えてほしいと思います。

・計画の中に、子どもへの影響や、子どもへのケアを追記して明示してほしい。
・計画の中に、どのような統合をすることで、どのような効果があるか、といった評価の部分を入れてほしい。
・他人事と思っている保護者もいるようなので、保護者に我が事として考えてもらえるように、保護者の巻き込み方についても検討してほしい。
・地域がハッピーになる計画にしてほしい。

・議会の記録を見ると、学校体育館や特別教室へのエアコン設置を要望する意見に対して、統廃合の計画に合わせて検討していくと回答していましたが、すべての学校に不利益が生じないようにしてほしい。

・統合の時期については、時代の変化が早い中で、10年かけるべきなのかももう一度検討していただきたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・小規模特認校制度の利用者や、受け入れる上高小学区の保護者には、この制度に対して色々な意見があると思うので、制度についての評価をしてもらって、それを確認してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・先生方への影響がないようにしてほしい。授業への影響や子ども達への負担がないようにしてほしい。統合による地域格差が出ないようにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・この公聴会の後、次の意見聴取の機会があるのか、次はパブコメになるのか教えてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の案が出来上って、パブコメをする段階になったら、もう一度公聴会を実施してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・前向きな議論をして、子ども達にとってこういういいことがある、という前向きな将来を示してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・検討を進めていった上で、再度の公聴会の実施をお願いします。

<p>北小学校学区（15 項目）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・段階的に2回統合することの負担は望ましいものでないので、1回で統合する方法としてほしい。1回の統合とすることでよりコストが下げられるのであれば、スクールバス運行や電車通学の無償化などに使ってほしい。どの統合パターンを選択しても、反対意見はあると思います。大人の意見を聞きすぎないで、配慮しすぎないで、子ども達にとってよりよい教育環境となる方法を選択していただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・統合小の位置については、町の北側に電車線路が走っているので、宝積寺方面に電車通学することができるということも考慮に入れてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・何年か前から統合の検討をしていて、様々な意見があるとは思いますが、なるべく早めに町で統合方法を決めていただいて、それに従っていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達がスクールバスを利用することの影響として、毎日歩いての登下校がなくなることや、小学校でスクールバスを利用していた子が、中学校で自転車通学になった場合など、体力的な部分が心配なので、そのフォローを検討していただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・統合によって、学童保育はどのように変わっていくのでしょうか？
<ul style="list-style-type: none"> ・公園など安全に遊ぶ場所が少ないと感じているので、公園を設置したり、放課後の学校の校庭で遊ぶように開放したりすることを検討してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の将来を考えれば統合することはいいことだと思いますが、地域のことを考えれば、地域に学校がないと、その地域に住むという選択肢がなくなっていくのではないかと危惧していますので、学校を残してもらえればと感じています。 ・学校を残してほしいと意見を言いましたが、子どもが急激に減っている状況からすれば、統合を急いだ方がいいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・町内に雇用の場がない点は、近隣市町と比較して遅れているのではないかと感じています。まちづくりについて、よく考えて検討してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模特認校制度を始めた当時、加藤町長は教育長だったことからすると、統合については、加藤町長から直接住民に語りかけてはどうでしょうか。

・なぜ上高小を継続しないのかについては、競争心が湧かないとか、人間関係が固定化するとか、小規模の弊害があることをはっきりと言った方がいいと思います。

・学校と地域が密接に結びついてきた時代と比較して、現在は学校と地域が離れてしまっていると感じています。学校が統合することになると、距離的に遠いコミュニティで構成されることになるし、ますます学校と地域が離れていってしまうのではないかと感じています。学校の規模が大きくなること自体はいいことだと思います。

・北小は、もともと水害等が心配な場所に建っている経緯もあることから、新しい学校を考える際には、防災についても考慮して対応して欲しい

・子ども達が、統合によっていろいろな影響を受ける期間が長いことを考えると、2段階の統合よりは1段階の統合の方がいいのではないかと思います。

・学校を新設する場合に、市街化調整区域の規制や場所の縛りはあるのでしょうか？また市街化調整区域に学校を建てる場合に、学校周辺の開発は考えているのでしょうか？

・素案において統合の具体的な時期や見通しを示した方がいいと思います。

西小学校学区（8項目）

・統合方法については、資料の案でいいと思いますが、資料16ページの答申書の附帯意見に対する「高根沢町らしい教育ビジョンや特色ある教育」については、基本計画に具体的に書くべきではないでしょうか。町としての考え方を全面的に押し出して基本計画に示し、町民と共有すべきだと思います。学校の統廃合の計画を進めていく大きな転換点の中で、町の教育のコンセプトやビジョンを示すことは大事なことだと思います。

・具体的な町の教育内容について提案があります。町の産業別生産額では農業生産額が一番多いことから、高根沢町は「農業の町」であり、高根沢町の強みを教育にも反映させるため、特に「食育」に重点を置くべきではないかと思います。町で生産されている安全安心でおいしい農産物を食べてもらうことで郷土愛を醸成していくことが大事だと考えます。「議会だより」に掲載されたカフェ・ド・ギカイの記事では、「町食生活改善推進員協議会」や「JAしおのや高根沢地区女性会」の活動が行き詰っているとの内容でしたが、これらの団体にも学校の教育活動に協力・参加していただき、町の食育、教育に反映させていていただきたい。また、高根沢町のランドマーク的施設である「元気あっぷむら」の設立趣旨は、農村資源活用農業構造改善事業による「食の健康拠点施設」であり、これも、町の教育に反映させるべきものだと思います。

・町民に対する情報発信力を高めて、それらの活動を積極的に発信し、町民との情報共有を進めて議論を深めていていただきたい。

・町の情報発信力が弱いということもあり、町民に情報が上手く落とし込まれていないので、公聴会の場で意見を言っても上手く回らないのではないかと感じています。学校の統廃合は大きなテーマなので、町民に分かりやすくロードマップを示すなど、町民に積極的に情報提供してほしいと思います。

・農業地域の少子化を解決していくには、移住者を増やしていけるような、魅力ある町づくりが必要と思います。町で新たに展開する企業に就業する若い方や、農業に興味のある若い方が、町内に住んでもらえるよう、積極的に呼び込んでほしい。特に、町民広場に役場新庁舎ができるのであれば、そこに中心街をつくることや、町内への産婦人科誘致など、若い方が安心して住める町づくりを考えていく必要があると思います。

・現在、小規模特認校制度により上高小に通学している子どもの保護者です。統合することになった場合、学区外から上高小に通っている子ども達はどのようなのでしょうか。在校生が卒業までいられるのか、在校生の兄弟は同じ学校を選べるのかなど、現時点で分かっていることがあれば教えていただきたい。

・素案では、2段階での段階的な統合方法が示されていますが、なるべく早い時期に進めていく方がいいのではないかと考えていますので、1回で統合する方法もあるかと思えます。段階的な統合で決定ということでしょうか。

・素案で示されている2段階の統合を進めた場合、現在の中央小学区から阿小、北小に統合される地域のうち、距離的には西小の方が近い地域が生じることになるので、育成会や自治会の問題はあるが、学区・通学エリアの線引きを精査していただきたい。